

# 産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成30年度:計画作成主体:東根市農業再生協議会)(山形県)

## 取組の概要

- 対象品目 : 露地花き(啓翁桜)  
(産地面積53.27ha)
- 主な取組主体 : 東根市花木生産者連絡協議会
- 成果目標 : 販売額の10%以上の増加  
基準(H29年度) 85,523円/10a  
目標(R2年度) 112,101円/10a
- 導入施設等 : 生産支援事業  
(機械リース:スピードスプレー、乗用モア)



山形県  
東根市  
東根、高崎地区

## ポイント

### 【産地の課題及び取組方向】

産地では、農家の高齢化と園地の老木化、それらに伴う病害虫被害等により生産量が減少しているため、歯止めをかける必要がある。  
水稲不適地からの転換で新たな生産基盤を確保しながら農地の集積、集約化を図るとともに、省力化機械の導入と共同作業により、高品質で安定的な生産出荷及び早期出荷を図り、産地としての販売高の向上を図る。

### 【産地の体質強化に向けた方策】

- ①動力散布機(SS)の導入により効率的な防除を行い商品化率の向上を図る。
- ②草刈機の導入により作業の省力化を図る。
- ③地域の担い手への農地集積や集約化を図りながら作業効率の向上を目指す。

## 産地体制

県、市、農業協同組合が連携して事業を推進

- ・山形県村山総合支庁
- ・北村山農業技術普及課
- ・東根市
- ・JAさくらんぼひがしね

指導・助言



取組主体

東根市花木生産者  
連絡協議会

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・啓翁桜を「プラスα」の品目として新規取組者の掘り起こし
- ・県との連携による「新規導入研修会」の開催
- ・栽培管理、収穫が比較的簡易な「全伐収穫法」の推進

## 取組成果

### 【事業実施による直接効果】

・省力化機械の導入等により、高品質安定生産が図られ、販売額が増加

### 【事業実施による間接効果】

- ・農業者の複合経営による経営の安定化
- ・団地化で組織活動が活性化。ベテラン栽培者による技術講習会等の積極的な開催
- ・遊休農地の解消



販売額が  
57.3%増加  
(達成率184.3%)

